

2019 川崎港トライアスロン in 東扇島大会

オペレーションマニュアル 【ラン】

【審判用】

第 1 版

作成者	篠原 永年
作成日	2018年9月25日
最終更新日	2018年9月30日

目次

2019 川崎港トライアスロン in 東扇島大会	1
目次	2
体制	3
1. TO・ボランティア一覧	3
会場・コース	エラー! ブックマークが定義されていません。
1. スタッフ配置図	エラー! ブックマークが定義されていません。
2. コース設営図	エラー! ブックマークが定義されていません。
業務詳細・留意事項	4
1. 共通事項	4
2. 業務別詳細および留意点	4
3. 救護を要する選手の対応	14
4. 制限時刻対応	15

体制

1. TO・ボランティア一覧

チーフTO/サブチーフTO一覧

名前	ポジション	役割	連絡先
篠原永年	チーフ	ラン統括 自転車持参、先導、最後尾	070-3858-1366
梅田淳	サブチーフ	自転車持参、先導、最後尾(R8 指示)	
猪俣 位		自転車持参、先導、最後尾	

TO一覧および担当エリア

名前	ポジション	担当・役割	備考・備品
浅井 政司	ゾーンD,E	R7, R8	コース変更作業、エイド管理
佐々木 秀一	ゾーンD	R6	ショートカット防止
篠原 風沙	ゾーンA	R1	SWIM～TR 間 3 差路選手誘導
田前 正博	ゾーンB	R9	T字路コース変更作業⇒横断路誘導
玉川 圭介	ゾーンA	R2	観客横断路管理、選手コース管理
大谷 圭吾	ゾーンA	R3, 4	コース変更作業⇒ショートカット防止
吉川 成光	ゾーンC	R5	コース変更作業

ボランティア一覧および担当エリア

ポイント名	人数	担当・役割	指揮担当 TO
ゾーン E	3	R8 周回輪ゴム提供	梅田淳
ゾーン D	3	エイドサポート	浅井誠司
ゾーン A	2	エイドサポート	篠原風沙
各定点	17	各ポジションでの選手誘導、観客誘導	各定点担当者

業務詳細・留意事項

1. 共通事項

- 競技のカテゴリ別にランコースが異なるため、競技の進行に合わせてコース変更を手際よく行う必要があります。
- 例年、観客等がコース上に入ってくるが多々有り、競技をスムーズに遂行するためには適切な状況判断が求められています。競技の安全を最優先に審判業務に携わっていただくよう重ねてお願いいたします。
- ランコースは5つのゾーンに分け、各ゾーンに審判員とボランティアを配置します。担当ゾーン内について責任をもって管理運営してください。
- ゾーンとゾーンが接する場所は、各ゾーンの審判員が協議して境界を決定し、コース上に管理空白地点を発生させないよう対応してください。
- 休憩や昼食は、競技の合間を縫って適宜交代で取ってください。

2. 業務別詳細および留意点

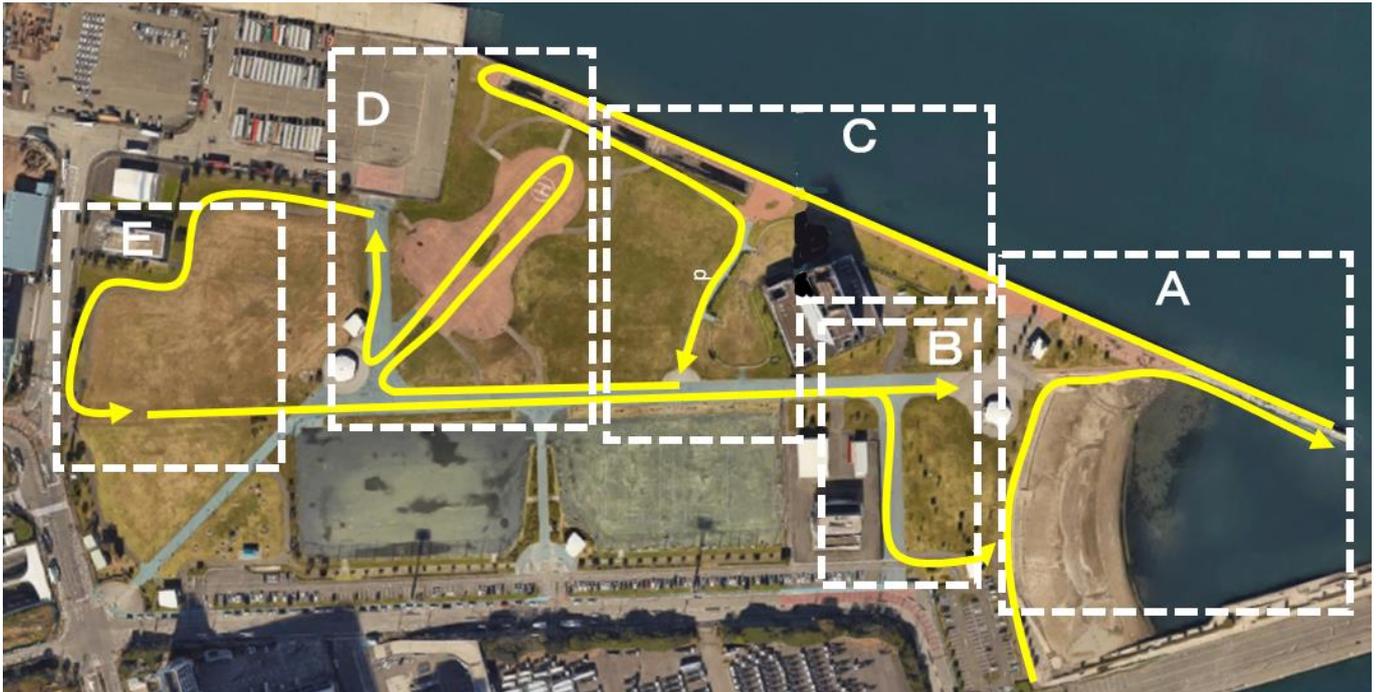
■ 各ゾーン別の審判員とボランティアの配置は、「スタッフ配置図」の通りです。ゾーン単位に審判員はボランティアと協力して競技に支障の出ないよう責任を持って、安全を最優先にしてコースの維持管理をしてください

業務・ポイント名	業務詳細・留意事項
先導・最後尾	<ul style="list-style-type: none"> ・先導および最後尾を担当する審判員は、各カテゴリ別の先導か最後尾に付くかを事前に協議してスタンバイしてください。 ・先導および最後尾に付くのは次のカテゴリです。 キッズ高学年、キッズ低学年、トラガール、ジュニア、エンジョイ、オリンピックディスタンス ・オリンピックディスタンスは、先導は第1ウェーブのみで、最後尾はカテゴリごとの最終選手です。
ゾーンA (R1~R4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ランスタートから、大会本部テント裏を通るルートを担当です。 ・一般の方の通行も多く、横断路の制御が重要です。ボランティアスタッフと打合せの上、交錯が無いよう注意してください。 ・特にラン先導の前に、コース上に一般の方を入れないよう注意してください。 ・防波堤の折り返し付近の担当です。

	<ul style="list-style-type: none"> ・折り返しでショートカットしないように注意してください。 ・ボランティアスタッフと協働して、業務を行ってください。 ・カテゴリにより、折り返すポイントが変わります。カテゴリ変更の時間に注意してください。 <p>パラ選手は防波堤先端には行かず、手前で折り返します。</p>
ゾーンB (R9)	<ul style="list-style-type: none"> ・フィニッシュ手前の担当です。 ・フィニッシュ動線と、周回動線が分かりやすいコース設営をお願いします。 ・観客横断路の管理を行ってください。
ゾーンC (R5)	<ul style="list-style-type: none"> ・潮風デッキ中央付近の担当です。 ・担当エリアが広いので、特にボランティアスタッフと協働してください。 ・ドッグラン手前、石製の車止めを避けるようにコースを作成してください。 ・カテゴリにより、折り返すポイントが変わります。カテゴリ変更の時間に注意してください。
ゾーンD (R6、R7)	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘリポートから芝生広場にわたるエリアの担当です。 ・担当エリアが広いので、特にボランティアスタッフと協働してください。 ・カテゴリにより、折り返すポイントが変わります。カテゴリ変更の時間に注意してください。 ・エイド管理があります。紙コップ廃棄 BOX の設置。 ・パラ選手はエイド～ヘリポート間を 2 周回します。
ゾーンE (R8)	<ul style="list-style-type: none"> ・最後の直線に入る角で、周回確認用ゴムバンドを配布します。ボランティアスタッフと業務内容を確認してください。 ・事前準備で、金属製のポールを格納する必要があります。鍵はランチーフと確認してください

※配置、役割の詳細は、チーフに委ねる

■ゾーン全体範囲



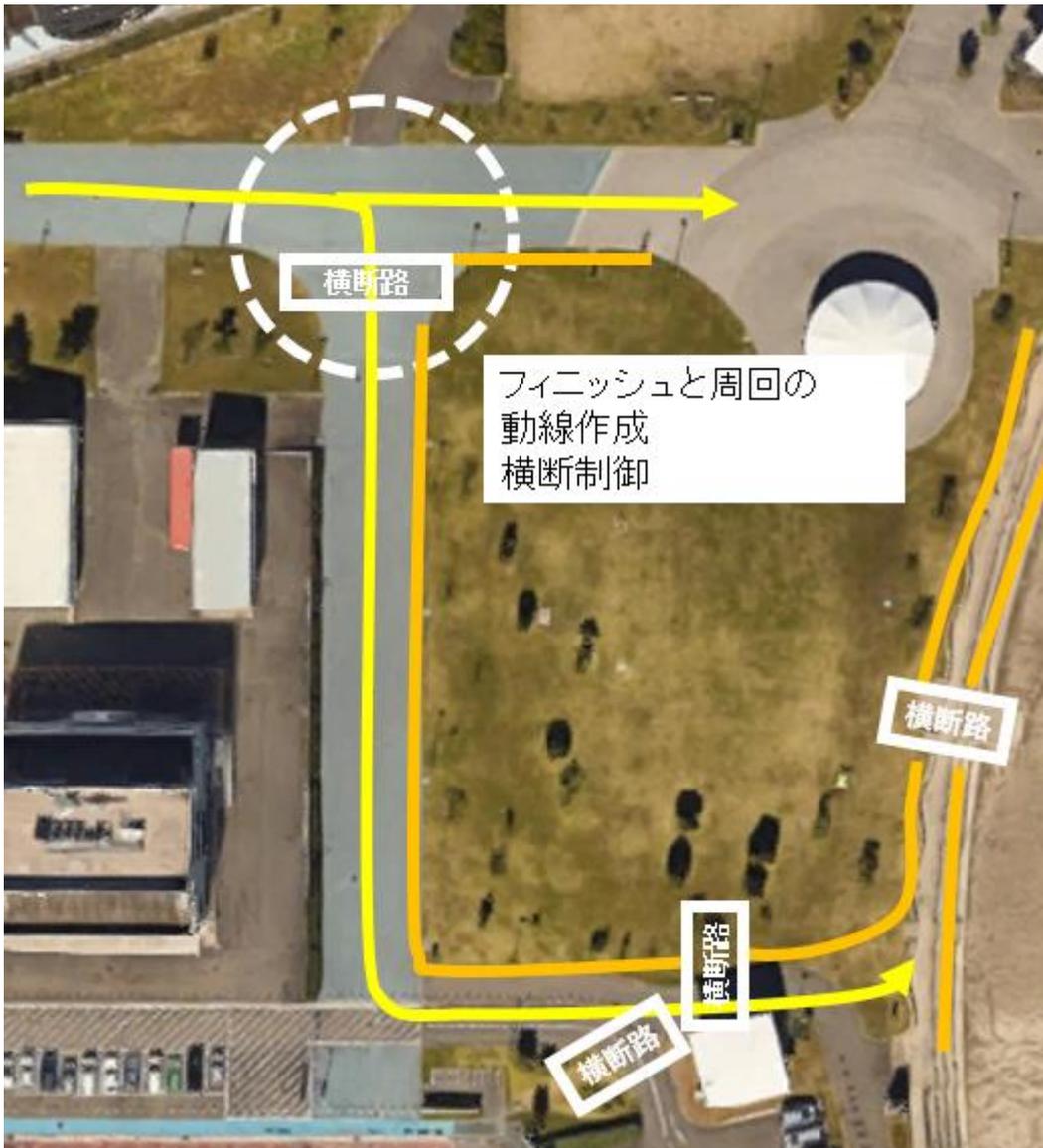
■TO 配置図



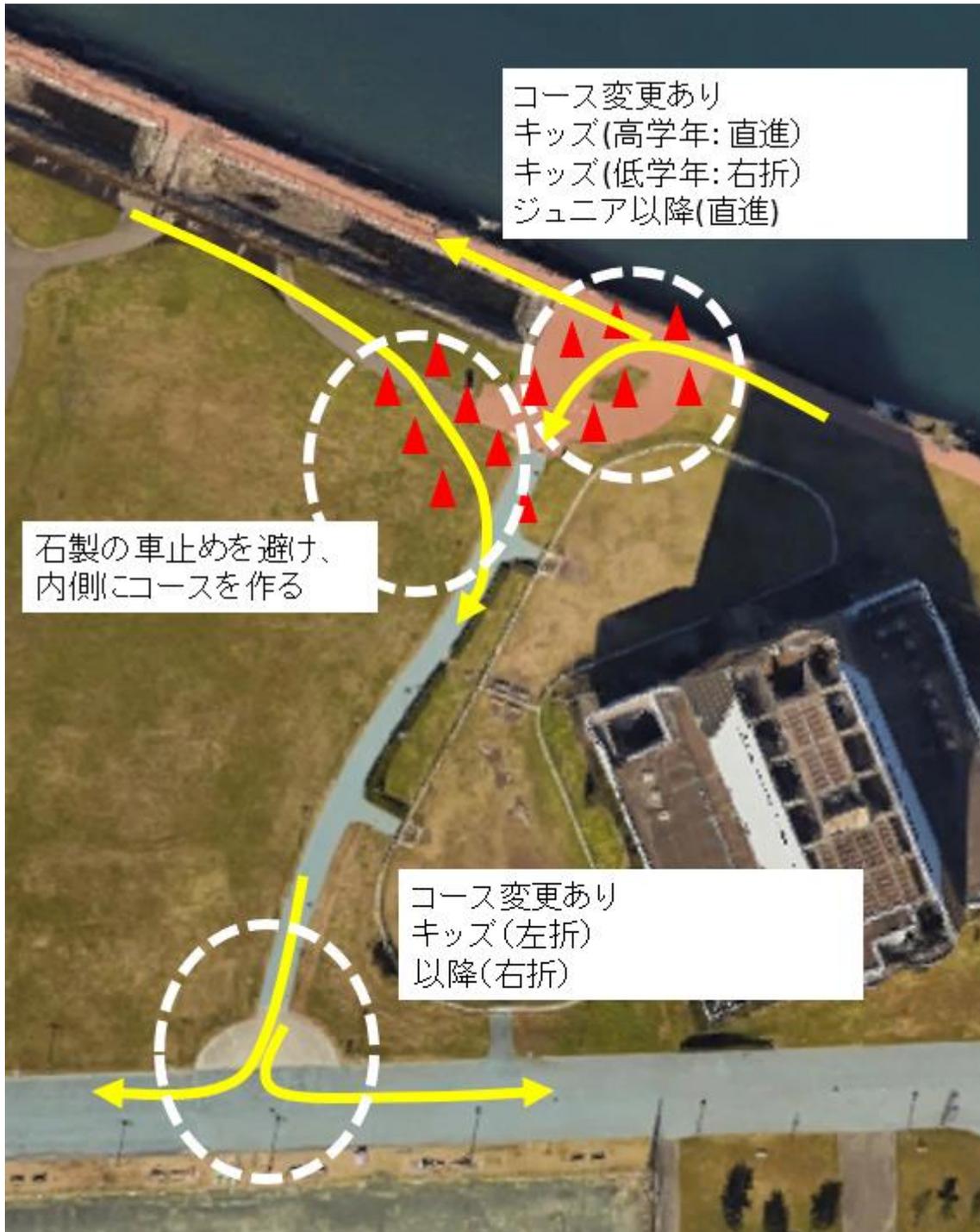
ゾーン A



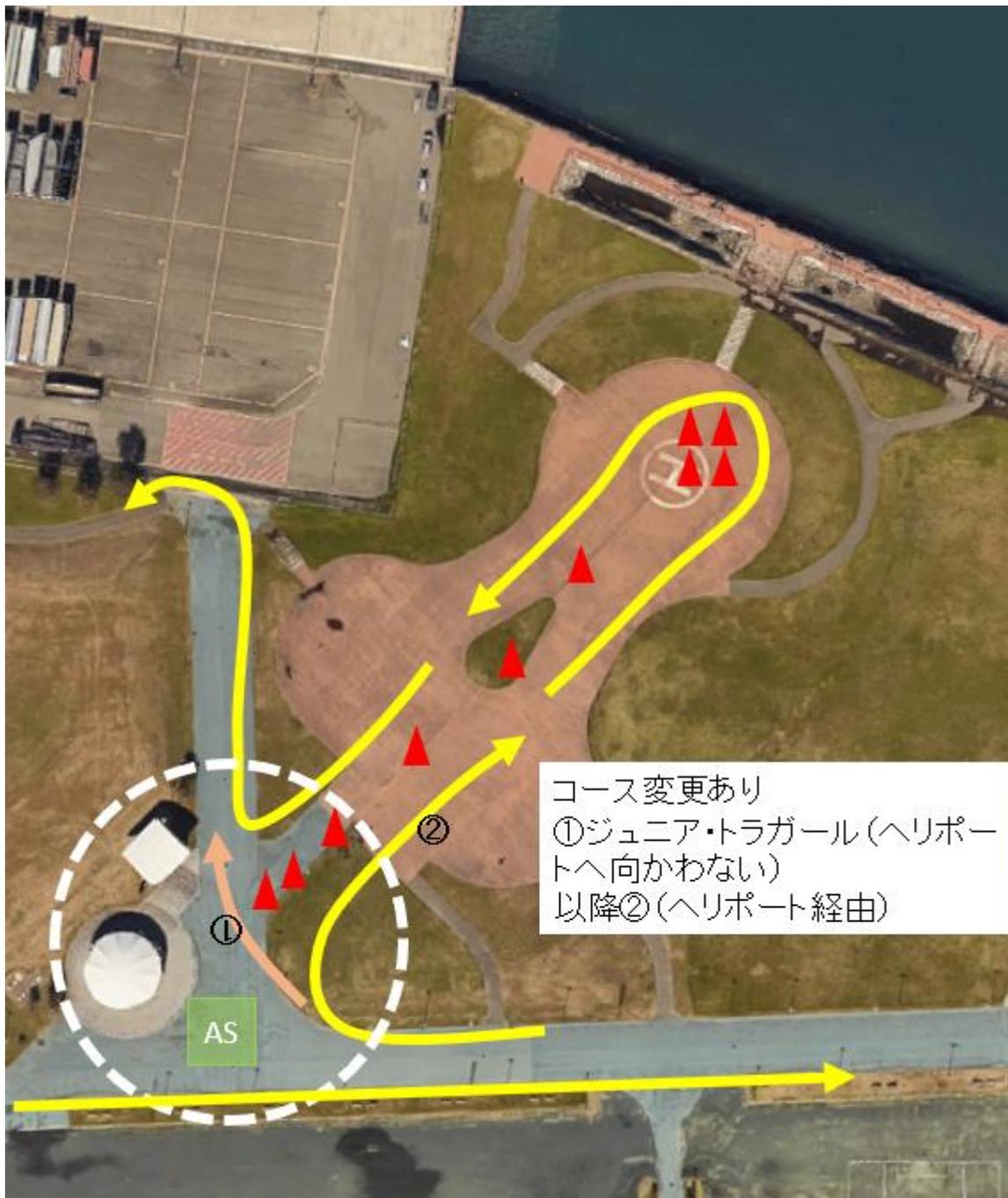
ゾーン B



ゾーン C



ゾーン D



エイド対応

使用済み紙コップを投げ捨てないように喚起します。Clean Triathlon！
暑さ対策としてのシャワー提供は選手の状況を判断し行ってください。

ゾーン E



注意) R8 に TO の常時配置ができないため、ボランティアさんに協力していただき、選手を誘導します。

(1)審判員

■ゾーンとゾーンが接する場所は、各ゾーンの審判員が協議して境界を決定し、コース上に管理空白地点を発生させないよう対応してください。

■カテゴリにより一部ランコースが違うため、競技スケジュールに基づき担当ゾーン内でのコース変更を的確に実施してください。前カテゴリのラン競技終了後速やかに次のカテゴリのランコースに変更してください。

カテゴリ	合計	スイム		バイク		ラン	
キッズ 1-3 年	1.55km	50m	50m 片道 1 本	1km	1km 1 周	500m	500m 1 周
キッズ 4-6 年	3.1km	100m	50m 往復 1 本	2km	1km 2 周	1km	1km 1 周
ジュニア	7.2km	200m	100m 往復 1 本	5km	5km 1 周	2km	2km 1 周
トラガール	7.2km	200m	100m 往復 1 本	5km	5km 1 周	2km	2km 1 周
高校生	25.4km	400m	100m 往復 2 本	20km	5km 4 周	5km	2.5km 2 周
エンジョイ エンジョイ・リレー	25.4km	400m	100m 往復 2 本	20km	5km 4 周	5km	2.5km 2 周
オリンピック オリンピック・リレー	51.5km	1500m	500m 周回 3 周	40km	5km 8 周	10km	2.5km 4 周

カテゴリ別の変更箇所

- ・キッズ低学年(1~3 年生) ラン折返し、潮風デッキ、メインプロムナード
- ・キッズ高学年(4~6 年生) ラン折返し、メインプロムナード
- ・トラガール・ジュニア ラン折返し、ヘリポート
- ・エンジョイ・高校生 基本コース
- ・オリンピックイデスタンス 基本コース

■担当ゾーンの準備を最優先で実施してください。準備の遅れているゾーンがあった場合は、協力して早期に完了するよう対応してください。

■競技中においてもカテゴリにより当面選手が来ないと判断した場合には、自ゾーンの運営に支障のない範囲で他のゾーンの支援を適宜してください。

■ボランティアに任せられることは極力任せて、審判員は担当ゾーン内を適宜巡回し競技に支障の出ないように留意してください。

■ボランティアには、競技スケジュールを教えて役割を明確に指示し行動させてください。大きな声を出して選手の誘導や観客のコントロール等を積極的に担当させると共に、競技終了後に撤収する際には、担当ゾーン内のコーンおよびコーンバー等の機材の集約も指示してください。もし、指示通り行動しない場合は注意をすること。それでも改善しない場合は、チーフやサブチーフに連絡してください。

(2)ボランティア対応

■ボランティアには、主に選手のランコース誘導と観客のコントロールを担当させてください。なお、現場の状況を踏まえて審判員の判断により他の作業の担当をさせる等適宜対応してください。

- 担当ポジションは、配置図の通りですが、現場の状況や競技の進行により適宜担当ポジションが変更になることを事前に周知させておいてください。
- 担当ポジションに、ただ立っているだけでなく周囲の状況も常に注意してコース管理を行うよう指導してください。
- コースのショートカット、レースナンバーが正面に無い、ウェアのファスナーが下がっている等の選手を発見した場合は、レースナンバーを控えて審判員に報告するよう指導してください。
- 周回チェック用の輪ゴムを渡す際には、確実に漏れなく1本ずつ選手に渡すよう指示してください。

(3)パラ選手の対応について

本大会ではパラ選手が、オリンピックディスタンス及びエンジョイディスタンスに出場します。ランコースに関しては以下の2か所において、ゾーンAの専用の折り返し、及びゾーンDのヘリポート2周回となります。この2か所で武田 TD、亀山 TL が誘導します。

ゾーンA パラ選手専用折り返しポイント



ゾーン D パラ選手専用周回ポイント



3. 救護を要する選手の対応

■ 競技運営マニュアルに準じる

コース上で選手の体調に異変があった場合は、本部と連絡を取り、状況を報告し医師の指示に従う。救急車を要請する状況以外の場合は、選手が自力で戻れる状態になるまで、その場で安全を確保する。(OS-1 給水、体温維持等、担架による搬送は行わない)

4. 制限時刻対応

- 最後尾付近の選手で、審判長が適宜判断する。(基本的にはできるだけ完走してもらう)